

会報第41号
発行日 平成20年2月29日
発行・編集 V・G 概輪
代表者 大岡成一
http://web3.ibj.co.jp/~kirin

V.G 概輪だより

向日市 わがまち紹介

千二百年前の都と物集女街道の文化にふれる

向日市、長岡京市と大山崎町を昔から乙訓(おとくに)地域と言われています。古事記や日本書記に「弟国(おとくに)」という地名の由来で記載されています。弟国宮は、西暦五一八年に継体天皇が筒城宮から遷宮した3番目の宮です。宮跡の推定地は、現在の長岡京市今里付近(乙訓寺や隣接した長岡第二小学校付近)と考えられています。

桓武天皇が延暦二年(883)に「長岡京」に遷都され、10年間にわたって都が置かれました。

天保13年(1842)に伊勢参りの講の一つ築禰講の人々によって建てられました。現在は、家並みの谷間になっています。かつては一際高く明かりが灯され、西国街道を往来する人々の安全を祈っていました。

築禰講常夜灯

土曜日にはアニメーターの方も居られ館内を説明し頂けるようです。

須田家住宅

屋号を松葉屋といい、江戸時代末まで醤油の製造販売を営んでいた旧家。西国街道と物集女街道の分岐点にあり、元和2年(1616)に作成された古文書にも記載されています。

向日市文化資料館

本資料館は、長岡京の歴史と文化を主題に、乙訓地域の歴史を明らかにするために、古代の都、長岡京(784~794年)の宮跡の一角に遷都千二百年を記念して昭和59年(1984)建設開館されました。館内には常設展示として「長岡京の歴史と文化」を発掘調査の成果をもとに



近年修復されていて、京都府の指定文化財(建造物)です。

元稲荷古墳

向日神社北側、勝山公園の中にある元稲荷古墳は、乙訓地域最古の古墳で、三世紀後半に築かれた全長約94mの前方後方墳です。墳輪の原形となる壘形墳輪や特殊器台形墳輪も前方部から出土しています。周辺には、弥生時代の高地性集落である北山遺跡があります。

向日市天文館

向日市天文館の周辺も北山遺跡の一部で弥生中期の集落の跡、方形周溝墓などが発掘されています。天文館は、未来を担う青少年はもとより、広く市民の天文に関する理解と関心を深めながら、宇宙の美しさ、不思議さの体験を通して、市民文化の創造と発展を願い開設したものです。



大極殿は、天皇が政治を司った場所、発掘調査によってその位置が確認されました。昭和39年に国の史跡に指定され、現在は大極殿公園として整備されています。

長岡京朝堂院跡

長岡京の役所は、朝堂院・内裏・諸官庁と大きく分けられ、朝堂院は、宮の中央にあつて国家的な儀式を行う場所で、ちようどの国会議事堂に相当します。平成17年に翔鸞楼(しよらんろう)跡が発掘されたことにより、唐の制度や文化を積極的に取り入れた証でしょう。S・O

向日神社

「明神さん」の名で親しまれている養老2年(718)創建の古社。應永25年(1418)に建造された本殿は、室町時代の三間社流造(さんげんしやながれづくり)とい



向日神社の大鳥居南側にある大きな石。京での日蓮宗の布教活動を禁止された日像上人が、徳治2年(1312)頃、この石の上で西国街道を行き交う人々に説法をしたと伝えられています。

長岡京大極殿跡

向日市鶏冠井(かいで)町には大極殿という地名があります。大極殿は千二百年以上も前の建物で、その名称が今も地名として残っています。長岡京の正面玄関である朱雀門の真北に配置される朱雀門の真北に配置される座を置く大極殿です。大極殿は、天皇が政治を司った場所、発掘調査によってその位置が確認されました。昭和39年に国の史跡に指定され、現在は大極殿公園として整備されています。

3月度行事予定

“淀川から三島の表玄関：津之江”

月 日：平成20年3月13日(木)
集合場所：高槻市役所生涯学習センター1階ホール 13:00
順 路：市役所→高槻市水道部・消防署→清掃局→芥川歩道橋→筑紫津神社→津之江南遺跡(津之江小学校)→稻荷神社・アジャリの森→清水池→阪急高槻駅

4月度行事予定

“水路のまち：東五百住・津之江町”

月 日：平成20年4月10日(木)
集合場所：阪急富田駅改札出口 10:00集合
順 路：阪急富田駅→春日神社(五百神社)→常見寺→明然寺→善照寺→天童橋→津之江水路→城西橋→新川桜堤→花見→城西橋→バス停→阪急高槻駅